

2014年度 各教科の授業改善点・具体的な取組 (特別支援学級)

教科	○生徒の実態 △課題 ◎身に付けさせたい力	具 体 的 な 取 組
国語	<p>○漢字練習、暗唱などの課題には熱心に取り組んでいる。</p> <p>○文章を朗読し、内容を大まかにとらえることができる。</p> <p>△作文は意欲的に書くが、正しい表記で組み立てを考えて表現することは苦手である。</p> <p>△日常生活でも語彙が少なく、不明確な意味で使っている場面が多く、相手の感情や真意を汲み取りながら話を適切に聞くことが苦手である。</p> <p>◎コミュニケーション能力・読解力・表現力。</p> <p>◎体験した事柄について文章で表現する力。</p> <p>◎社会や集団でのルールや望ましい行動や態度について、文章で表現する力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別にグループ学習を行う。一人一人の生徒に応じた学習目標・指導法での授業を行う。 ・漢字の読み書きや辞書引きなど語彙の習得のための学習を行う。 ・文章を、言葉を根拠に内容や組み立てをとらえて読み解くようにする。 ・行事や身近な経験などを題材に作文を書き、発表し表現力を身に付けさせる。 ・社会や集団でのルールや望ましい行動や態度について、自分の意見を発表し、相手の意見を正しく聞く練習をさせる。 ・百人一首、名文の暗唱等を通して日本の伝統文化に親しませる。 ・日常生活においても、言語環境を整備し、正しく丁寧に聞く・話す・書くことを継続的意識付ける。
社会	<p>○知的好奇心を持ち、意欲的に学習に取り組む</p> <p>○個々の能力差が、学習意欲の差に結びついている。</p> <p>△学習した事を実生活の場に生かせるようにする。</p> <p>◎地図やグラフまた絵図資料の読み取り能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地理学習は、地図、パソコン、ビデオ等を利用しながら、より具体性を持たせ、実生活の場面と照らし合わせていきながら繰り返し学習を行う。 ・個々の能力差に対応できるように、スキルアップできる課題をいくつか準備しておく。 ・絵図資料の種類、意味の基本確認を行いながら、その資料から何が読み取れるかの練習を行う。
数学	<p>○教科書を開き、ノートをしっかりとり、集中して学習することができる。</p> <p>△一度理解した内容も時間がたつと、忘れてしまうことも多い。知識・技能の定着が課題である。</p> <p>△計算は方法を習得して熱心に取り組むが、文章題が苦手な生徒が多い。</p> <p>◎意欲をもって自主的に学ぼうとする力。</p> <p>◎社会生活に必要な基礎的な学力の定着。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別にグループ学習を行い、一人一人の生徒に応じた目標・指導法の設定を行う。 ・教科書を使用し、文章・式・表・図を正しく読み取り、理解する力を身につけさせる。 ・ノートの指導を丁寧に行う。1マスに1文字を書き、位をそろえて計算することを徹底する。 ・量の学習には具体物の操作を取り入れる。実生活に即した文章問題に取り組み、習得した知識・技能を日常生活で活用できるようにする。 ・小テストを実施し、計算力の定着を図る。 ・教材を精選し、スモールステップで指導を行う。発問を厳選して明確にする。説明を減らし、作業や演習を増やし、実際に問題を解く力を身につけさせる。

	<p>◎数学的な物の見方や考え方を身につけ、自分の考えを他の人に説明できる力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを発表し、お互いの考えを聞き合う機会を設け、数学的な考え方を表現する力を身につけさせる。
理科	<p>○実験・観察に興味・関心を持ち、意欲的に取り組む生徒が多い。 △実験・観察が楽しい経験だけで止まってしまい、科学的な思考力に至りにくい。 ◎実験・観察の結果を考察し、自らの考えを導きだし、表現する力 ◎指示の内容を理解し、指示に従って正確に実験・観察を行う力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察を取り入れ、実感を伴った理科を目指した学習を展開する。1時間の授業の学習課題を一つにしぼり、生徒が目的を意識しやすくする。 ・書くことを重視し、発表しお互いに検討し合う場面を設ける。事実と意見を分けて考え、根拠をもって意見を述べることを指導する。 ・準備や片付け、安全への意識を徹底し、自律的に授業に取り組めるようにする。 ・I T C教育を取り入れ、視覚的にわかりやすい授業を行う。 ・キャリア教育の観点から、科学と職業の関連について気付かせる。
音楽	<p>○興味・関心を持ち比較的よく取り組み、一つの曲をみんなで仕上げているという姿勢が見えるが、時折、音楽以外の友達関係が演奏にまで影響を及ぼしてしまうこともある。 △他の人のことがいろんな面で気になるので、自分に与えられた課題に集中して取り組む。 ◎みんなで作り上げていく大切さや楽しさを感じる気持ちを持たせたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を明確にして、どのように取り組むべきかを理解させる。 ・個別の目標を立て、それが達成されていく喜びを味わえるような授業を行う。 ・個人の得手・不得手を把握しながら、適切な役割を与え、みんなで作り上げていくことの意味を感じさせたい。
美術	<p>○色や形の表現方法や技能等、新しいことを前向きに取り組む学習している。 △作業の技能や進度に個人差が大きい。 ◎創造的に表現したり、鑑賞したりする力を楽しみながら培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三原色を使った混色法で着彩し、色彩の基礎を理解させる。 ・様々な基本的な技術を指導し、作品を完成させる達成感を体験させる。 ・友達の作品を鑑賞し、お互いの良さを認め合う場を設定する。 ・「形を認識する力」「豊かな発想」「表現する力」「正しい道具の扱い方」等を向上させていける課題を工夫し授業に取り入れる。

保健 体育	<p>○授業規律を守り、積極的に授業に取り組むことができる。</p> <p>△基礎的な体力や筋力が少ない。</p> <p>また、自ら運動に親しむ経験が乏しい生徒が多い。</p> <p>△自分の体の使い方に課題のある生徒も多い。</p> <p>◎運動が苦手な生徒に、運動の喜びや楽しさを味わわせる。</p> <p>◎自ら課題を見つけ、その課題に一生懸命に取り組み、実践できる力を付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動を通して、授業規律を確立させる。また、毎時間、課題を明確にして、どのように取り組むのか理解させる。 ・基礎的な体力や筋力の向上を図る補強運動を毎時間取り入れる。また、運動の楽しさや喜びを味わわせると共に、一人でも行うことができる運動を身に付けさせる。 ・体づくり運動等を通して、様々な動きを体験させる。 ・個別の評定を重視し、できた喜びを実感させていく。 ・個々の生徒が自身の体力や技能について知り、課題をみつける。 ・心身の発達や安全・健康についての授業を行う。
職業 ・家 庭	<p>○取り組みは課題に、興味・関心を持ち意欲的に取り組む生徒が多い。</p> <p>△授業時間が100分（2時間）と長時間で集中力を持続することが困難な場合もある。</p> <p>◎日常生活において基礎的な動作や作業の定着。</p> <p>◎もの作りを通して完成させ、実生活にそれをいかに活用できるか体験させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、授業の取り組む内容を明確にして、積極的に取り組ませる。 ・一つ一つの作業工程をわかりやすく説明し巡回し、個別指導する。 ・実習を通し、安全に作業を行い、道具の使い方や材料についての知識を習得させる。 ・家庭生活における自分の役割について意識させる。
英語	<p>○英語に興味を持ち、よく声を出して意欲的に学習活動に参加している。</p> <p>△言語活動において、聞く・話すは理解しやすく、取り組み易いが、読む・書くという分野では、苦手意識をもつ生徒が多い。</p> <p>△あいさつや単語のような短いことばは覚えやすいが、文法力を要するような文章にも取り組めるようにしていく。</p> <p>◎初歩的な英語に親しみ、会話表現ができるようにする。</p> <p>◎言語や文化に対する関心を深め、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム学習やチャンツ、歌など、様々な表現方法を用いながら英語のことばが右脳にインプットされるように取り組ませる。 ・ALTの先生と協力し、対話、交流をすることで、会話の定着を図り、国際人としてのマナーも身に付けさせる。 ・言語活動用のワークシートを使い、楽しく自己表現ができるようにする。 ・毎回聞く・話す活動に加えて、読む・書く活動も副教材やカードを使用、繰り返しての練習が定着できるようにする。

領域・教科をあわせた指導の授業改善点・具体的な取組（特別支援学級）

教科	<p>○生徒の実態 △課題 ◎身に付けさせたい力</p>	<p>具 体 的 な 取 組</p>
日常生活の指導	<p>○決められた手順で作業を自分のペースで行うことができるが、変更したり自分で判断して行うようなことは苦手で、時間がかかる。 △その場に合った適切な行動や言葉遣いができるようにすること。 ◎時計を見て行動する習慣を身に付ける。 ◎周囲の人を思いやった言動を取ることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに変更しなければならないような作業には最初に落ち着いた状況で全体に説明し、理解が難しい生徒には個別に説明や支援を行う。 ・時間や場面に合わせた行動ができなかった場合は、その都度、声掛けを行い、次の行動目標とさせる。 ・自分の気持ちを大切にすることと、周囲の人の気持ちを同様に大切にできるようにと伝え、理解を促す。
生活単元	<p>○行事への取り組みはとても意欲的である。 ◎自立に必要な態度や実践的な技能。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級や市内特別支援学級や小学校との交流学习など、一人一人が活躍できる場面を設定する。発表や表現の機会として意識的に活用する。 ・経験した事柄を文章で表現することを通して、自己の成長を意識させ自己肯定感を高める。
作業	<p>○ものづくりに興味を持ち意欲を持って取り組むことができる。 △作業の技能や進度に個人差が大きい。 ◎指示の内容を理解し、指示に従って正確に作業を行う力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の過程をスモールステップに分割し、課題を明確にし、目的を持って作業に取り組ませる。その都度、個別に評価を行い、技能を確実に習得させる。 ・作業を最後まで丁寧に行うように意識づける。安全への配慮が自分でできるように、留意点を具体的に指摘する。 ・I T C教育を推し進め、コンピュータなどの情報機器の学習を取り入れる。 ・キャリア教育の観点から、作業と職業の関連について気付かせる。